

# 放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

2021年1月4日 現在
事業所名： 夢門塾 ゆうゆう高木

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	4	2	1	公文の人数が多い時に学習室が狭い気がする
	②	職員の配置は適切である	6	1		当日の動きに合わせて適切な人数を配置している
	③	衛生面の管理が行き届いている	6	1		朝、夕と毎日掃除をしている(ドアノブや扉等、不特定多数が触る場所の消毒も行っている) 手洗い・うがいに加え、手指消毒を徹底している
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	1	6		認識の違いがある ミーティング等で話した内容も記憶に残っていないことが多くみられる 研修の機会を増やし、職員の支援のレベルを上げていかないといけない
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	6	1		保護者への評価表を実施し、職員全員に周知し、意見を生かして改善できるように話し合いを行っている
	⑥	自己評価の結果を公開している	6	1		自己評価の結果を集計し、ホームページに掲載している
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	7			毎朝のミーティングで児童に対する変化等、職員に周知している 会議・研修を定期的に行い参加できる環境を確保している 子どもの障害特性について、さらに研修の機会が増えたらいいと思うとの意見もあるため、研修の参加を促していく
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6	1		日頃から、ご家族と定期的なやりとりを行っている 夢門塾での課題、ご家庭での課題を共通認識を行い、作成している
	⑨	活動の計画をチームで行っている	5	2		職員で役割分担をして計画をしている 固定化しないように色々な活動に挑戦できるよう意識をしている
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	3	3	1	固定化してしまいがち、児童の特性等を考慮し、柔軟に行動することが難しい コロナ禍で活動の幅が狭まってしまい、なかなか新しい活動を考え実施することが難しかった。今後を見据え、室内活動の充実を図りたい マンネリ化している内容もある
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	4	3		今後緊急事態宣言が発表されるか分からない中、支援の質を高めるための工夫が必要
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	5	2		音の反響等で、最初から最後まで集団活動に入りにくい児童に対し、休憩を入れながら、職員が声を掛け、参加を促している
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			来所する児童に合わせて職員間で当日の流れを話し合っている 気を付けて対応していかないといけない児童に対し、その都度、職員が関わられるよう声を掛け合っている
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	3		職員により偏りがある。児童の様子が伝わりにくく、時系列になっていることがある 記録の質を上げるために、時系列ではなく、その日のトピックス、必ず記入すべきことをだれでも掛けるような書式の改善が必要ではないか
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6	1		提供記録の内容を汲み取りながら、モニタリングを行い、計画の見直しの判断が出来ている
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	4	3		児童の特性に合わせて支援をしている 全ての把握までは出来ていないので読み直すことが必要

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			下校時刻表などを保護者又は、学校から頂き、送迎の時間の確認を行い、送迎表を作成している 時間等の連絡は、管理者を中心に行っている。学校とは送迎時に情報共有をしている。 保護者に予定表を提出してもらい、口答、電話などで利用の調整をし、把握している
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	6	1		訪問や電話対応にて情報共有を行っている
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	5	2		状況に応じ、行っている
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2		相談支援との連携を行っている 市町の部会に参加している
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	5	2		保護者からの連絡を受けて、管理者から職員全員に周知をし、意見を出し合いながら支援を行っている 児童の心模様も加味して、伝えられるよう気を付けている 不適切な行動だけでなく、児童一人ひとりの成長が見られた場面は積極的に伝えられるよう周知していかないといけない
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	5	2		管理者が対応している 契約時に丁寧に分かりやすく説明することを心掛けないといけないと改めて、再認識した
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	5	2		保護者様に寄り添い、児童一人ひとりに対し、関わっていけるよう適宜、連絡を取り合っている
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	—	—	—	コロナ対策のため本年度は開催が困難であった
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1		子どもや保護者様からの苦情があれば、迅速に対応し、必要に応じて相談支援専門員を含め対応している。 何かあれば職員に周知し、対応策を考え、みんなで共通理解が出来るようにしている
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	6	1		「夢だより」・「ブログ」等で発信している
	㉗	個人情報保護に十分注意している	7			守秘義務を守っている
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	2		視覚支援を活用し、イラストにて提示できるよう準備している
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	2	5		コロナ禍で、行事の中止、外出の自粛が続き、困難な状況が続いている
非常時などの対応	㉚	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	5	2		各マニュアルに目を通し、皆で周知できるようファイルに綴っている
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	6	1		学期が変わる時期に合わせて、実施するよう計画を立て、行っている
	㉜	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			職員全員が虐待防止の研修に参加し、適切な対応を行えるよう周知している アンガーマネジメント研修により虐待に繋がる可能性を下げられるよう、怒りへの対処法を学んだ
	㉝	いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	5	2		契約時に説明を行っている
	㉞	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	7			1日利用時、昼食後に薬の服用がある際は、与薬依頼書を記入して頂き、薬の管理に気を付けている。服薬後の包みも捨てずに持ち帰ってもらい、きちんと飲んでいることを保護者に送迎時にお伝えしている

③⑤	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	7			ヒヤットしたこと、ハットしたことは、日頃から記入を促している朝の職員ミーティングにおいて改善点を話し合っている
----	-----------------------	---	--	--	---